

平成 29 年度札幌市アイヌ施策年次報告書

札幌市

序文

平成 19 年 (2007 年) に「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択され、平成 20 年 (2008 年) には「アイヌ民族を先住民族とすることを政府に求める決議」が、衆参両議院の本会議で採択されたことにより、新たな政策を進める機運が高まりました。

こうした状況を踏まえ、アイヌ民族に関わる施策を総合的に推進するため、札幌市では平成 22 年 (2010 年) に「札幌市アイヌ施策推進計画」を策定しました。

この計画では、先住民族であるアイヌ民族の誇りが尊重されるまちを実現することを目的としています。

そのためには、アイヌ民族に対する市民の理解を促進するとともに、アイヌ民族の伝統文化を保存・継承・振興し、生活に関連する施策を推進することが必要となります。

この計画では、概ね 10 年間をめぐり、札幌市が取り組む施策・事業について整理しています。

本年次報告書では、この計画の体系に従い、平成 29 年度に行ったアイヌ施策をまとめました。

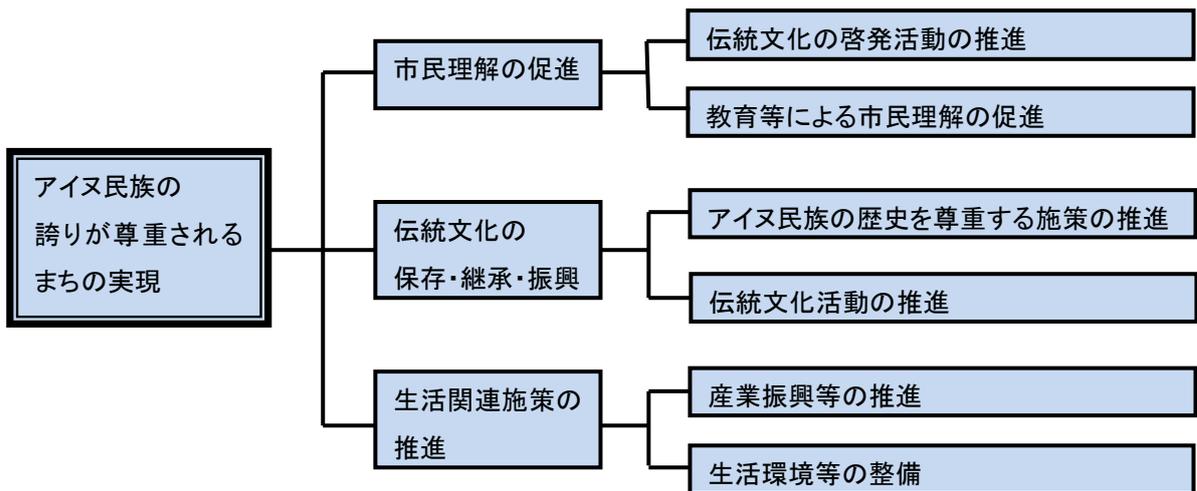
計画の体系

計画は、「3 つの施策目標」、「6 つの推進施策」で構成されています。

[計画の目的]

[施策目標]

[推進施策]



目次

平成 29 年度札幌市アイヌ施策の実施状況	1
施策目標 1 : 市民理解の促進	1
推進施策 (1) : 伝統文化の啓発活動の推進	1
① アイヌ文化体験講座の実施	1
② アイヌ文化交流センターイベントの実施	1
③ アイヌ民族古式舞踊 (輪踊り) の実施	2
④ 小中高校生団体体験プログラムの実施	2
⑤ 小中高校生団体出前体験プログラムの実施	2
⑥ 公共空間を利用した情報発信	5
⑦ 市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作	5
⑧ シーニックバイウェイ支援事業 (南区市民部)	6
⑨ インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援	6
⑩ アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助	6
⑪ アシリチェプノミ保存伝承事業補助 (市民文化局文化部)	6
⑫ “イランカラテ” キャンペーンの推進	7
⑬ アイヌ文化を発信する空間の整備 (まちづくり政策局都心まちづくり推進室、市民文化局市民生活部、交通局)	7
⑭ 第 43 回「将棋の日」in 札幌 公開対局イベントアトラクション (教育委員会生涯学習部)	7
(関連事業①) 現れよ。森羅の生命ー木彫家 藤戸竹喜の世界 (市民文化局文化部 (公益財 団法人札幌市芸術文化財団 札幌芸術の森指定管理事業))	7
(関連事業②) 札幌国際芸術祭 2017 (市民文化局国際芸術祭担当部 (札幌国際芸術祭実行 委員会))	8
推進施策 (2) : 教育等による市民理解の促進	8
① 新任課長職への研修の実施	8
② 新採用職員への研修の実施 (総務局自治研修センター)	8
③ 札幌市民族教育に関する研修会 (教育委員会学校教育部)	9
④ 札幌市教育センター専門研修 (教育委員会学校教育部)	9
⑤ 札幌市研究開発事業 (研究課題)「アイヌ民族に関する教育の充実」 (教育委員会学校教育部)	9
⑥ 人権教育推進事業 (教育委員会学校教育部)	9
⑦ 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク (環境局環境都市推進部)	10
(関連事業①) さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座 (教育委員会生涯学習部 (公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 生涯学習センター事業))	10

施策目標 2 : 伝統文化の保存・継承・振興	10
推進施策 (1) : アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進	10
①埋蔵文化財センターでの出土資料の展示 (市民文化局文化部)	10
推進施策 (2) : 伝統文化活動の推進	11
①札幌市アイヌ文化交流センターの運営	11
②イベントの実施 (再掲)	11
③札幌地域イオル事業の受託及び実施	11
 施策目標 3 : 生活関連施策の推進	 12
推進施策 (1) : 産業振興等の推進	12
①民工芸品振興等可能性調査等業務の実施	12
推進施策 (2) : 生活環境等の整備	12
①住宅新築資金等の貸付	12
②アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置 (市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部)	12
③アイヌ民族の児童・生徒の学習支援	12

平成 29 年度札幌市アイヌ施策の実施状況

札幌市アイヌ施策推進計画の目的に掲げる「アイヌ民族の誇りが尊重されるまち」を実現するため、市民理解の促進、伝統文化の保存・継承・振興及び生活関連施策について、関係部局と連携しながら、以下のとおり各事業を展開した。

施策目標 1：市民理解の促進

市民がアイヌ民族の歴史や文化を理解できるよう、アイヌ文化交流センターや市中心部をはじめとする、市内各所において体験講座やイベントを（多数）実施したほか、教育活動等を通じて児童・生徒にも理解できるよう、体験プログラムや教職員研修等を引き続き行った。

※児童・生徒向けの体験プログラムは、予算を拡大し実施校数の増加を目指している（平成 28 年度～31 年度）。

推進施策（1）：伝統文化の啓発活動の推進

① アイヌ文化体験講座の実施

手芸、工芸、エコツアー等の体験講座を実施した。

開催場所：アイヌ文化交流センター・区民センター
（中央、北、厚別、豊平、西、手稲）・北海道大学

年度	開催回数	参加者
平成 25 年度	16 回	172 人
平成 26 年度	14 回	169 人
平成 27 年度	18 回	222 人
平成 28 年度	17 回	205 人
平成 29 年度	18 回	228 人



② アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、ムックリ・刺繍等製作体験、古式舞踊、昔遊び等を実施した。

年度	開催回数	参加者
平成 25 年度	6 回	1,478 人
平成 26 年度	6 回	789 人
平成 27 年度	6 回	1,122 人
平成 28 年度	6 回	1,628 人
平成 29 年度	6 回	1,212 人



③ アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を実施した（平成29年6月18日（日））。

年度	開催回数	参加者
平成25年度	1回	79人
平成26年度	1回	42人
平成27年度	1回	79人
平成28年度	1回	69人
平成29年度	1回	171人



④ 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来所した小中高校生に対して伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を行った。

年度	参加校数 (開催回数)	参加児童・生徒
平成25年度	44校 (44回)	2,859人
平成26年度	50校 (50回)	3,692人
平成27年度	51校 (50回)	3,366人
平成28年度	64校 (64回)	4,263人
平成29年度	57校 (57回)	4,013人



⑤ 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

遠隔地である等の理由により、アイヌ文化交流センターに来所できない小中高等学校に出向き、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露等、アイヌ伝統文化を体験できるプログラムの提供を行った。

年度	参加校数 (開催回数)	参加児童・生徒
平成28年度	9校 (9回)	747人
平成29年度	24校 (24回)	2,185人

(平成28年度から実施)



アイヌ文化体験講座

回数	講座名		実施日	受講	会場
1	アイヌ文様刺繍	巾着	6/25	10人	中央区民センター
2		チヂリのタペストリー	7/11	23人	中央区民センター
3		カパラミプのタペストリー	8/3	24人	中央区民センター
4		コースター3枚組	8/27	5人	札幌市アイヌ文化交流センター
5		ポシェット	9/16	17人	中央区民センター
6		ルウンペのタペストリー	10/12	19人	中央区民センター
7		ランチョンマット	10/19	6人	中央区民センター
8		ポーチ	10/26	10人	中央区民センター
【刺繍 計】				114人	
9	木彫り	ペンダント	7/2	8人	札幌市アイヌ文化交流センター
10		鎖彫りの箸	10/21	7人	中央区民センター
11	制作	ミニキーホルダー	9/7	15人	中央区民センター
【木彫り等 計】				30人	
12	講義	アイヌの歴史と文化	7/13	5人	中央区民センター
			7/20		中央区民センター
13	ツアー	アイヌ文化の遺跡めぐり in 北大	10/7	25人	北海道大学周辺
【講義等 計】				30人	
合計				174人	

区民センターアイヌ伝統文化体験講座

回数	講座名		実施日	受講	会場
14	アイヌ文様刺繍	かんたんバッグ	10/1	6人	手稲区民センター
15			10/28	11人	豊平区民センター
16			11/9	12人	北区民センター
17			11/16	13人	西区民センター
18			11/30	12人	厚別区民センター
合計				54人	

アイヌ文化交流センターイベント

回数	事業名	実施日	参加	イベント内容※	
				遊び体験	製作体験
1	モニョラブチュプ	7/16	104人	輪投げ	-
2	シニョラブ	8/20	125人	輪投げ	切り絵
3	ウレポケチュプ・アラスイ	9/10	148人	弓矢	-
4	ウレポケチュプ・トゥスイ	9/17	208人	弓矢	柳のランプ
5	スナンチュプ・アラスイ	10/14	318人	投輪突き	-
6	スナンチュプ・トゥスイ	10/15	309人	投輪突き	切り絵
合計			1,212人		

小中高校生団体体験プログラム

回数	学校種別	区	学校名	人数	回数	学校種別	区	学校名	人数
1	小学校	中央区	中央	95	30	小学校	豊平区	しらかば台	77
2	小学校	中央区	山鼻	81	31	小学校	豊平区	みどり	52
3	小学校	中央区	幌西	170	32	小学校	豊平区	あやめ野	31
4	小学校	中央区	宮の森	123	33	小学校	清田区	真栄	90
5	小学校	中央区	伏見	133	34	小学校	清田区	平岡公園	137
6	小学校	中央区	大倉山	58	35	小学校	南区	南	48
7	小学校	北区	屯田	146	36	小学校	南区	定山溪	19
8	小学校	北区	拓北	127	37	小学校	南区	石山	25
9	小学校	東区	北光	44	38	小学校	南区	簾舞	40
10	小学校	東区	栄南	95	39	小学校	南区	常盤	70
11	小学校	白石区	東橋	63	40	小学校	南区	藤の沢	27
12	小学校	白石区	上白石	50	41	小学校	南区	澄川西	41
13	小学校	白石区	西白石	23	42	小学校	南区	南の沢	81
14	小学校	白石区	北都	90	43	小学校	南区	北の沢	30
15	小学校	白石区	米里	87	44	小学校	南区	藻岩南	50
16	小学校	厚別区	上野幌	30	45	小学校	南区	澄川南	59
17	小学校	厚別区	青葉	47	46	小学校	南区	藤野南	74
18	小学校	厚別区	ひばりが丘	41	47	小学校	南区	真駒内公園	78
19	小学校	厚別区	上野幌東	57	48	小学校	南区	真駒内桜山	123
20	小学校	豊平区	豊平	67	49	小学校	西区	発寒東	69
21	小学校	豊平区	東園	74	50	小学校	西区	西野第二	129
22	小学校	豊平区	旭	56	51	小学校	西区	西園	88
23	小学校	豊平区	月寒	98	52	小学校	西区	八軒北	64
24	小学校	豊平区	平岸	88	53	小学校	手稲区	前田	44
25	小学校	豊平区	豊園	89	54	小学校	手稲区	新陵東	41
26	小学校	豊平区	西岡	79	55	中学校	北区	屯田北(特別支援)	18
27	小学校	豊平区	中の島	97	56	中学校	南区	定山溪	7
28	小学校	豊平区	東山	86	57	私立中学校	中央区	聖心女子学院中学校	14
29	小学校	豊平区	平岸西	93	合計				4,013人

小中高校生団体出前体験プログラム

回数	学校種別	区	学校名	人数	回数	学校種別	区	学校名	人数
1	小学校	中央区	日新	93	13	小学校	豊平区	福住	136
2	小学校	北区	茨戸	24	14	小学校	清田区	有明	19
3	小学校	北区	鴻城	81	15	小学校	清田区	清田緑	152
4	小学校	北区	北陽	49	16	小学校	清田区	平岡南	114
5	小学校	東区	苗穂	53	17	小学校	南区	藻岩	52
6	小学校	東区	福移	16	18	小学校	南区	藤野	51
7	小学校	東区	中沼	21	19	小学校	南区	石山南	33
8	小学校	東区	札苗緑	151	20	小学校	西区	手稲宮丘	104
9	小学校	白石区	東札幌	93	21	小学校	手稲区	星置東	124
10	小学校	厚別区	厚別通	81	22	中学校	東区	福移	20
11	小学校	厚別区	厚別東	44	23	中学校	東区	東栄	500
12	小学校	豊平区	美園	74	24	中学校	手稲区	稲穂	100
合計								2,185人	

⑥ 公共空間を利用した情報発信

○さっぽろ夏まつり大通西8丁目会場「ふるさと応援PRステージ（サッポロビール会場内）」において、アイヌ文化交流センターの紹介及びアイヌミュージックライブを行った。（平成29年7月26日（水））



○さっぽろ雪まつりと連動し、札幌駅前通地下歩行空間で実施された「チ・カ・ホイベント」の中で、アイヌ伝統文化交流コーナーを設け、アイヌ伝統文化体験（トンコリ演奏体験、ブレスレッド制作、切り絵、民族衣装試着等）や工芸品販売を行った。（平成30年2月5日（月）～12日（月）来場者数：12,913人）

○札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）の札幌駅側の柱にアイヌ文様タペストリーを設置し、アイヌ伝統文化を紹介している。また、「札幌の地名とアイヌ民族」紹介コーナーを設置し、アイヌの歴史や文化等に関する情報を発信している。

○アイヌ民族・文化に対する市民理解の促進を目的として、アイヌモニュメント（タペストリー）をJRタワー1階西コンコース及び札幌市役所本庁舎1階ロビーに設置している。

⑦ 市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作

市民がアイヌ文化に身近に触れる機会を創出するため、公募した市民20人がアイヌの指導のもと作成したタペストリーを繋ぎ合わせ、アイヌ文様大型タペストリー「イラムノアカラカラ（心を込めて一緒に刺繍）」を制作した。作品は、かねてより、アイヌ文様をモチーフにしたショッピングバッグの制作など、アイヌ文化の振興に取り組んでいる㈱札幌丸井三越の賛同を得て、丸井今井札幌本店に作品を設置した。



⑧ シーニックバイウェイ支援事業（南区市民部）

区内の40団体（連合町内会、商店街、大学、集客施設等）により構成され、南区の魅力アップとPRを行っている「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議」の活動を支援した。

※アイヌ文化交流センターは代表者会議の構成メンバーとして参加している。

<主なイベント>

○札幌シーニックバイウェイスタンプ deBINGO ラリー2017

（平成29年4月29日（土）～平成29年10月31日（水））

- ・スタンプラリー応募者数：880人
- ・アイヌ文化交流センター来館者数：737人

○公共施設等でのPRパンフレット配布

- ・南区内の公共施設等で、アイヌ文化交流センターが掲載されている札幌シーニックバイウェイ作製パンフレット「感動・寄り道GUIDE」を配布。

⑨ インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援

札幌アイヌ協会が開催したアイヌ民族シンポジウム、ペウレアイヌの集い、ムックリ大会、トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史・人権等に関するパネル展示について補助を行った。

開催内容	開催日時	場所	参加者
シンポジウム	平成30年1月19日（金）	札幌市教育文化会館	85人
ペウレアイヌの集い	平成30年1月27日（土）	アイヌ文化交流センター	42人
ムックリ・トンコリ大会	平成30年1月27日（土）	アイヌ文化交流センター	65人
アイヌミュージックコンサート	平成30年1月28日（日）	アイヌ文化交流センター	177人
パネル展等	平成30年2月5日（月）～12日（月）	札幌駅前通地下歩行空間	12,913人
合 計			13,282人

⑩ アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助

アイヌ民族の歴史や文化に対する市民理解を促進するため、札幌アイヌ協会が実施するアイヌ文化の保存・伝承、各種学習会等の実施にかかる費用補助を行った。

⑪ アシリチェプノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部）

豊平川河川敷（南7条大橋上流左岸）において、アイヌ民族の伝統文化であるアシリチェプノミ（新しい鮭を迎える儀式）を再現することにより、広く市民に理解の輪を広げるとともに、その文化を保存・継承する取組を支援した（行事内で披露される「アイヌ古式舞踊」は国指定重要無形民俗文化財である。）。

開催日：平成29年9月10日（日） 参加者：200人

⑫ “イランカラプテ” キャンペーンの推進

「北海道のおもてなし」のキーワードとして国が進める「“イランカラプテ”（こんにちは）キャンペーン」を共同で推進するため、協議会に参加するとともに、札幌市として可能なPR活動を行う。

※フラワーカーペット 2017（6月22日（木）～25日（日））において、メインカーペットが札幌アイヌ協会監修のもとデザインされた「カムイの大地～



nonno-pirka」であったため、このイベントに合わせて北海道、内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、北海道アイヌ協会と協力し、キャンペーン啓発活動を実施した。

⑬ アイヌ文化を発信する空間の整備（まちづくり政策局都心まちづくり推進室、市民文化局市民生活部、交通局）

「地下鉄さっぽろ駅魅力アップ事業」及び「アイヌ文化を発信する空間の整備検討事業」を具現化し、地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部を世界都市さっぽろの玄関口、アイヌ文化の導入口にふさわしい空間とするため、平成27年度に開催した外部有識者による検討会議を踏まえて、「地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部（アイヌ文化を発信する空間を含む）整備構想」を策定。平成28年度は、「アイヌ文化を発信する空間検討会議」を計6回開催し、アイヌ文化を発信する空間の具体的な整備内容（展示物を含む）について、外部有識者等から意見徴収を行い「アイヌ文化を発信する空間の基本設計」を実施した。

平成29年度は、実施設計、ベース部分の整備工事（交通局）及び大型ディスプレイ等の設置を行ったほか、「アイヌ文化を発信する空間展示物検討委員会」を計3回開催し、アイヌ文化を発信する空間に設置するシンボル展示及び実物展示の制作を依頼する作家や具体的な作品内容等について、有識者等の専門的見地から意見を聴取した。

⑭ 第43回「将棋の日」in札幌 公開対局イベントアトラクション（教育委員会生涯学習部）

日本将棋連盟では、将棋の普及事業として昭和50年から全国の地方自治体等との共催により、毎年1回「将棋の日」と題した普及イベントを開催しており、平成29年度は札幌で開催した。公開対局イベントのオープニングアトラクションとして、札幌アイヌ協会の協力によりアイヌ古式舞踊を披露した。

開催日程：平成29年11月5日（日）

開催会場：わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）大ホール

参加者数：1,141名

（関連事業①）現れよ。森羅の生命－木彫家 藤戸竹喜の世界（市民文化局文化部（公益財団法人札幌市芸術文化財団 札幌芸術の森指定管理事業））

札幌芸術の森美術館（公益財団法人札幌市芸術文化財団）と公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構（現在：公益財団法人アイヌ民族文化財団）の共催でアイヌ民族の木彫の技を受け継ぎながら、繊細さと野性味が交差する独自の世界を築いてきた木彫家・藤戸竹喜の展覧会を開催した。熊や鹿などの俊敏な動きをとらえた初期作から、アイヌ民族の歴史と威厳をモニュメンタルに伝える等身大人物像、そして本展のために制作されたエゾオオカミをモチーフにした最新作までを一堂に展示し、70年にわたる創作活動の軌跡をふりかえった。

開催日程：平成 29 年 10 月 14 日～12 月 17 日（59 日間）

開催会場：札幌芸術の森美術館

入場者数：12,070 人

（関連事業②）札幌国際芸術祭 2017（市民文化局国際芸術祭担当部（札幌国際芸術祭実行委員会））

札幌国際芸術祭 2017 のプログラムとして、以下の関連企画を実施した。

○マレウレウ祭り in SIAF2017～目指せ 100 万人のウポポ大合唱

アイヌの伝統歌「ウポポ」の再生と伝承をテーマに活動する女性ヴォーカルグループ「マレウレウ」が主体となって行う音楽フェスティバル。観客を巻き込んだ「ウポポ」ワークショップも実施した。

開催日程：平成 29 年 9 月 3 日（日）

開催場所：芸術の森野外ステージ

来場者数：414 人

○raprap

マレウレウと日韓のダンサーが作りあげたコンテンポラリーダンスの公演。マレウレウのウポポに合わせ、ダンサーがアイヌ文化に触れながら創作したコンテンポラリーダンスを展開した。

開催日程：8 月 23 日（水）～26 日（土）5 回公演（24 日（木）2 回公演）

開催場所：シアターZ00

来場者数：211 人

○コタンペッププロジェクト

アイヌが猟期に使う仮小屋「クチャ」をモチーフとした大風呂敷 TENT を参加者が設置し、常に風景が変化するコタンを形成するプロジェクト。アイヌの伝統文化やアイヌ語を体験できるワークショップも開催した。

実施期間：8 月 6 日（日）～10 月 1 日（日）（ワークショップ期間中 5 回開催）

開催場所：円山公園

来場者数：376 人

推進施策（2）：教育等による市民理解の促進

【市職員向け】

① 新任課長職への研修の実施

新任課長職を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現況、国の動向等について研修を行った。

開催日時：平成 29 年 11 月 22 日（水）

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター 参加者：93 人

② 新採用職員への研修の実施（総務局自治研修センター）

新採用職員研修において、アイヌ民族の歴史や人権に関する研修を行った。

開催日：平成 29 年 4 月 6 日（木）・7 日（金）

開催場所：札幌市役所本庁舎 12 階会議室 参加者：439 人

【教職員・子ども向け】

③ 札幌市民族教育に関する研修会（教育委員会学校教育部）

学校におけるアイヌ民族の歴史・文化等に関する指導事例の交流や、「ムックリづくり」、アイヌ民族に関する教育の在り方についての意見交流を行うことにより、学校におけるアイヌ民族に関する教育及び人権教育の充実を図ることを目的として開催した。

開催日：平成 29 年 8 月 25 日（金）

開催場所：札幌市アイヌ文化交流センター

参加者：29 人

④ 札幌市教育センター専門研修（教育委員会学校教育部）

本市に採用された初任教諭やその他の教諭を対象として、アイヌ民族の文化や民族教育に関わる研修講座を実施した。

開催日：平成 30 年 1 月 10 日（水）

開催場所：札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」

参加者：※47 人（※委員会終了後修正）

⑤ 札幌市研究開発事業（研究課題）「アイヌ民族に関する教育の充実」（教育委員会学校教育部）

アイヌ民族に関する教育の諸課題を踏まえた教材の開発や指導方法の工夫等、実践的な研究を行い、その成果を広く普及啓発することを通じて、アイヌ民族に関する教育の充実を図った。

○実践研究会において、次のような実践研究を実施

・小学校 4 年生社会科の学習

アイヌ民族の考え方や文化のよさを知り、自分とのつながりを感じられるようにする授業を実施

アイヌの人々の自然を守り、未来に向けて自然と共存していこうとする思いにせまる授業を実施

・中学校 3 年生社会科（公民的分野）の学習

中学校体験プログラム事業を活用し、実際にアイヌ文化にふれ、アイヌ文化を認め、共存していく態度を育てる授業を実施

○アイヌ民具の貸出

○アイヌ教育相談員の学校派遣

⑥ 人権教育推進事業（教育委員会学校教育部）

「札幌市学校教育の重点」に位置付けている「人間尊重の教育」について、人間尊重の教育に向けた 3 つの視点（「校種間の連携による連続性のある教育の推進」、「教師自らの人間尊重の意識の向上」及び「子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手立ての構築」）に基づいた推進と充実を図った。

○研究推進校における実践研究を実施

・小学校 2 校、中学校 2 校で体験的な学習の進め方についての実践研究を実施
（西岡北小、あいの里西、信濃中、北野台中）

・小学校 5 校で「サッポロピリカコタン」の活用に関する実践研究を実施
（山鼻小、北都小、月寒小、常盤小、北の沢小）

○札幌市人権教育フォーラムを開催

有識者による講演や研究推進校における実践研究の成果に基づくグループワークを実施

開催日：平成 30 年 2 月 26 日（月）

開催場所：札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」

参加者：28 人

【市民向け】

⑦ 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク（環境局環境都市推進部）

「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」は、平成 25 年 3 月に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、市内にある既存の環境関連施設を生物多様性に関する活動拠点として位置付け、ネットワーク化を図るもので、活動拠点間の情報の共有や連携・協働を進めることにより、生物多様性保全の取組を効果的に進めることを目的としている。過年度に引き続き、札幌市アイヌ文化交流センターを「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の活動拠点の一つとして位置づけ、アイヌ民族の伝統文化や自然観の普及啓発を通じて、市民の生物多様性に対する理解の促進を図った。

（関連事業①）さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座（教育委員会生涯学習部（公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 生涯学習センター指定管理事業））

市立札幌大通高校で開講している、さっぽろ市民カレッジ学社融合講座で「まちなかで触れるアイヌ文化」を実施。受講する市民と履修登録した大通高校の生徒に、アイヌ民族の歴史や文化（衣服・文化・言語・世界観）についての解説を行った。

参加者：一般受講生 8 人、高校生 11 人（全 7 回参加）

施策目標 2：伝統文化の保存・継承・振興

アイヌ民族の伝統文化を保存・伝承・振興するために、アイヌ文化交流センターで展示や各種イベントを引き続き実施した。また、埋蔵文化財センターでは展示室の更新に合わせてアイヌ文化期の資料を新たに展示した。

推進施策（1）：アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進

① 埋蔵文化財センターでの出土資料の展示（市民文化局文化部）

平成 26 年度に埋蔵文化財展示室の全面的更新を行い、アイヌ文化期の出土資料を展示している。



推進施策（2）：伝統文化活動の推進

① 札幌市アイヌ文化交流センターの運営

i) 展示室等の運営

ii) 啓発事業

(再掲)

- ・アイヌ文化体験講座
- ・アイヌ文化交流センターイベント
- ・アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）
- ・小中高校生団体体験プログラム
- ・小中高校生団体出前体験プログラム



アイヌ文化交流センターの利用状況

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
開館日数	296 日	296 日	298 日	297 日	293 日
来館者数	56,455 人 (191 人/日)	47,768 人 (161 人/日)	50,270 人 (169 人/日)	51,165 人 (172 人/日)	53,006 人 (181 人/日)
展示室 観覧者数	17,162 人	18,138 人	19,139 人	19,754 人	18,891 人

iii) 屋外展示物の復元

平成 28 年 8 月 30 日（火）深夜から翌 31 日（水）未明にかけて襲来した台風 10 号の暴風雨及びそれに伴う倒木により、アイヌ文化交流センターの屋外展示物のタンネチセが倒壊し、タンネチセに押しつぶされる形でイタオマチブ（外洋船・板つづり船）の板貼り装飾部分及び本体の一部が損壊したため、これらの復元を札幌アイヌ協会に委託した。（平成 29 年 10 月 31 日（火）復元が完了）



② イベントの実施

(再掲)

- ・インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援
- ・公共空間を利用した情報発信
 - さっぽろ夏まつりふるさと応援 PR ステージイベントの実施
 - さっぽろ雪まつりチカホイベントの実施
 - アイヌ文様タペストリーの設置（地下歩行空間、JR タワー 1 階西コンコース、札幌市役所 1 階ロビー）
- ・アシリチェブノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部）

③ 札幌地域イオル事業の受託及び実施

札幌地域におけるアイヌの伝統的生活空間再生事業（イオル事業）として、事業主体である公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構（現在：公益財団法人アイヌ民族文化財団）から事業を受託した。

- ・清田区内の市有地（2,000 m²）において、自然素材の栽培及び育成管理を行った。

- ・アイヌの民具づくり体験講座（5日コース）を2回実施。参加者：30人
- ・アイヌの伝統料理の調理と試食体験講座（1日コース）を4回実施。参加者：69人
- ・アイヌの子ども遊び体験講座（1日コース）を2回実施。参加者：40人
- ・伝統古式舞踊の披露

平成29年9月9日（土）に「さっぽろオータムフェスト6丁目会場野外ステージ」にて実施した。

施策目標3：生活関連施策の推進

工芸品の展示販売スペースの設置を試行するとともに、アイヌの児童生徒を対象に学習支援を行ったほか、アイヌから寄せられた各種相談に対し、必要な助言等の対応を行った。

推進施策（1）：産業振興等の推進

① 民工芸品振興等可能性調査等業務の実施

平成29年度から3か年かけて、都心部でアイヌ民工芸品を展示販売するスペースを設置する可能性を把握するために調査や試行販売等を実施しているもの。平成29年度の事業実績は以下のとおり。

【平成29年度事業実績】

- ・アイヌ民工芸品制作者に対するヒアリングや消費者に対するヒアリング
- ・札幌駅前通地下歩行空間におけるアイヌ民工芸品試行販売（平成29年12月16日（土）～22日（金）の1週間）及び来店者に対するヒアリング
- ・将来的に展示販売スペースを設置した場合に店舗の維持・周知に資すると期待されたアイヌ料理の提供方法等についての調査の一環として、「カフェ自休自足六軒村店」の協力を得て、アイヌ料理の試食会を開催。

推進施策（2）：生活環境等の整備

① 住宅新築資金等の貸付

アイヌの居住環境整備改善のため、住宅の新築、改修及び宅地の取得資金を準備した。

- ・貸付実績：なし

② アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置（市民文化局市民生活部・教育委員会学校教育部）

アイヌ生活相談員（2人）・教育相談員（1人）を配置し、各種相談に対応した。

- ・生活相談員相談件数：2,782件
（生活相談722件、教育相談254件、職業相談223件、その他住宅相談など1,583件）
- ・教育相談員相談件数：391件

③ アイヌの児童・生徒の学習支援

教育関係者やボランティア等の協力を得ながら、アイヌの児童・生徒を対象とする夏季・冬季学習会を開催し、支援を行った。

- ・開催日：（夏季）平成29年8月7日（月）～10日（木）、12（土）
（冬季）平成30年1月6日（土）、9日（火）～12日（金）
- ・開催場所：中央区民センター
- ・参加者：延べ61人